

令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I. 学校法人の概要

本学校法人大阪貿易学院は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則って学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために設置された本学校法人大阪貿易学院の令和元年度における概要は、以下のとおりであります。

1. 建学の精神と教育目標

設立当初は、外国語に堪能な国際人の育成として、継続的努力を要する語学の修得を主眼として設立された。

校訓「研精して倦まず」を「知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続ける」と解し、教育活動の実践的な柱としてきた。

現在の教育目標を、下記に示す。

- ① 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- ② 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- ③ 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- ④ 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- ⑤ 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2. 沿革

大正 2年	大阪商業会議所が国際人育成のため語学教育に重点をおいた専修学校を設立し、経済援助を行うことを決定。
大正 3年	12月1日 大阪貿易語学校を設立、会頭土居通夫が初代理事長に就任。
大正11年	大阪市都島区東野田9丁目に新校舎落成。
昭和20年	戦災により校舎焼失。
昭和21年	会頭 杉道助 が理事長に就任、復興に尽力。
昭和23年	学制改革により大阪貿易学院と改称。新制商業高等学校となり、現在地に新校舎完成。
昭和39年	普通科設置。
昭和54年	英語科設置。
昭和59年	全校舎冷暖房設備完備。
昭和61年	普通科Ⅰ・Ⅱ類と学科を改組。
平成 3年	中学校開校。
平成 4年	「大阪商工会議所主管」が外れる。
平成 6年	高等学校普通科6年編入コース・Ⅰ類と学科を改組。
平成 7年	開明中学校・高等学校と改称。
平成13年	中学校男女共学化。中学「理数コース」設置。
平成16年	高等学校男女共学化。
平成18年	中学既設の「理数コース」と併せ「スーパー理数コース」設置。
平成19年	共学1期生(第92期生)、高校卒業。
平成24年	共学6期生(第98期生、スーパー1期生)、高校卒業。
平成26年	学院創立100周年。新校舎完成。グラウンド人工芝化。
平成27年3月	体育館改修工事完了。
平成28年3月	清滝テニスコート改修工事完了。
平成29年9月	全教室電子黒板設置。

3. 主要な運営指標等の推移

5月1日時点

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
在籍者総数	1,625	1,684	1,701	1,677	1,602	1,542
高校	845	881	871	870	836	828
中学	780	803	830	807	766	714
高校専願 志願者	262	298	272	278	284	266
高校併願 志願者	141	139	94	57	53	51
中学志願者	2,041	2,002	1,715	1,308	1,234	1,330
教職員総数	139	147	150	151	148	148
本務教員	88	92	94	95	92	92
兼務教員	25	28	29	29	27	26
本務職員	9	9	8	8	7	7
兼務職員	7	8	9	9	9	10
その他職員	10	10	10	10	13	13

4. 所有地・建物等

①所有地（学校用地）

本校地	大阪市城東区野江1-9-9	面積	11,140㎡
清滝グラウンド	四條畷市清瀧1472-1	面積	26,368㎡

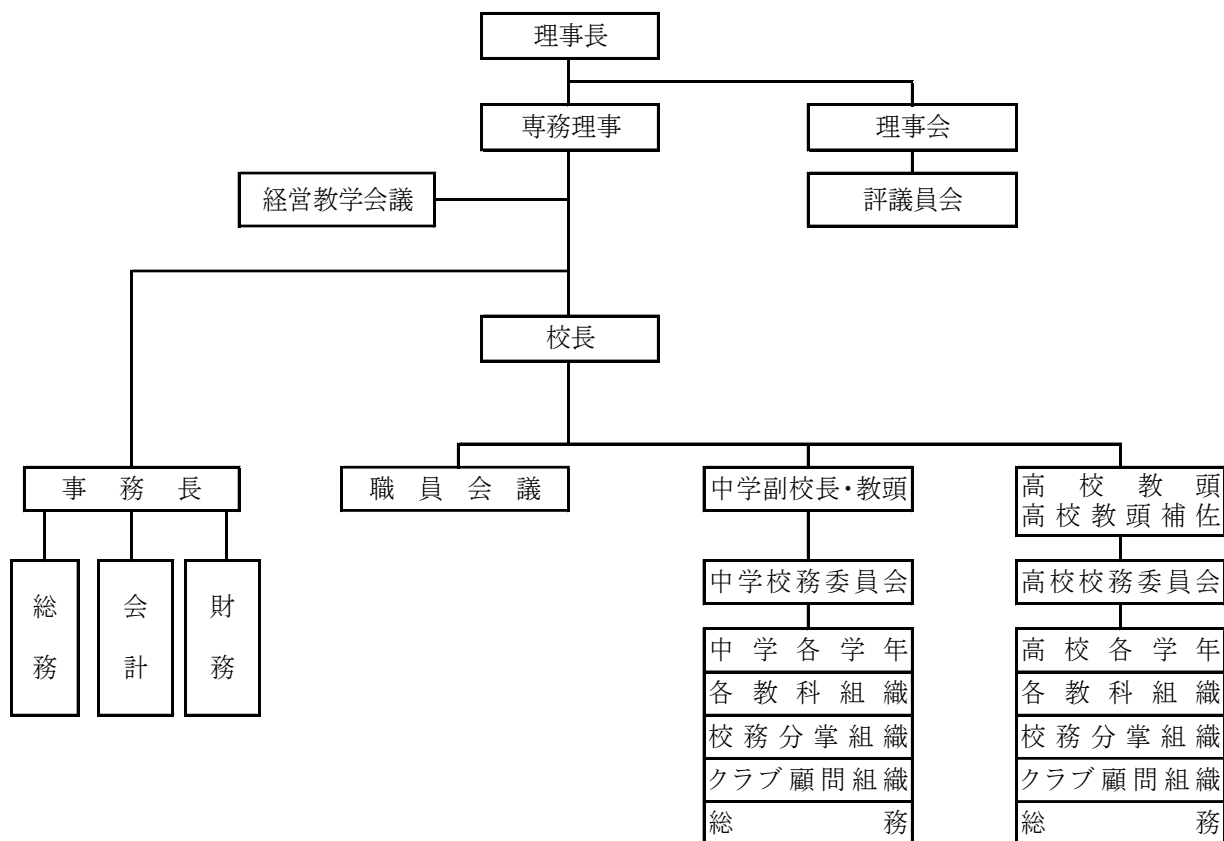
②建物

校舎	面積(㎡)
校舎	19,193.89
体育館	2,772.15
合計	21,966.04

③図書蔵書数 49,335冊

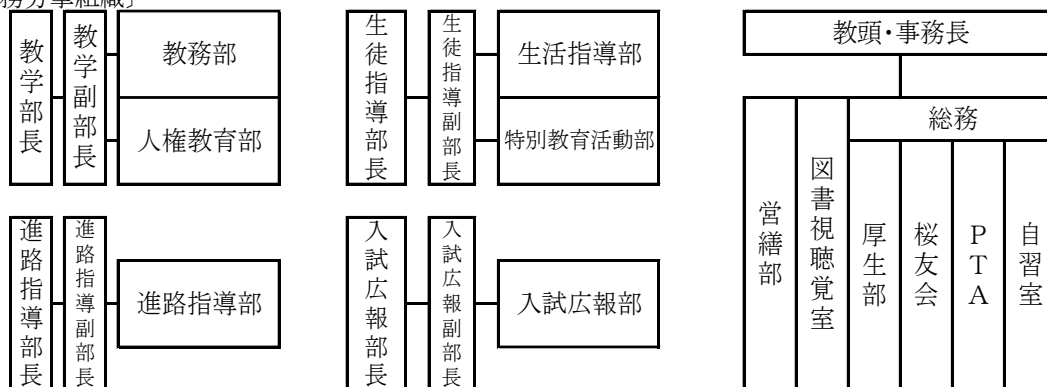
5. 組織・機構

令和元年度学校運営組織 [組織図概要]



[学年組織] 中1・中2・中3・高1・高2・高3の各学年主任・副主任

[校務分掌組織]



[経営教学会議] 学内理事・評議員

[校務委員会] 中学副校長・高校教頭・事務長・高校教頭補佐(進路指導部長)・各学年主任・各学年副主任・教学部長・生徒指導部長・入試広報部長で常時運営し随時他の各校務分掌主任が参加する。中学、高校でそれぞれ設置。

[クラブ顧問組織] 中学・高校 運動部・文化部

[その他の各種委員会] いじめ対策委員会、人権教育推進委員会・入試企画委員会・カリキュラム委員会・職員安全衛生委員会・学校安全対策委員会・健康教育委員会、給食委員会(小委員会として生徒相談委員会・結核対策委員会・特別支援教育校内委員会、健康教育委員会を含む)

6. 在籍生徒数

令和元年度（令和2年3月31日現在）

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	合計
生徒数	249	239	270	758
男子	127	125	144	396
女子	122	114	126	362
クラス数	6	6	7	19

	高校1年生	高校2年生	高校3年生	合計
生徒数	281	268	265	814
男子	142	158	139	439
女子	139	110	126	375
クラス数	8	7	7	22

7. 教職員数

令和元年度（令和2年3月31日現在）

	合計	男性	女性
本務教員	91	65	26
兼務教員	28	11	17
本務職員	7	5	2
兼務職員	10	5	5
その他職員	13	12	1
総教職員数	149	98	51

8. 法人役員の状況（令和元年4月2日現在）

理事8名、監事2名、顧問2名

	理事	監事	顧問
理事長	西村 貞一	廣瀬 恭子	久我 一郎
専務理事	澤田 明	森田 文明	田中 太郎
学校長	早坂 元実		
	加藤 好文		
	立野 純三		
	林 佳孝（事務長）		
	森脇 靖（中学副校長・教頭）		
	白江 恵三（高校教頭）		

9. 桜友会（卒業生組織）について

i. 主な活動

年4回の役員会開催。年1回の会報を発行している。

6月22日（土）定時総会開催。出席者は、63名であった。

ii. 令和元年4月1日現在の役員は、下記の通り。

会 長	西野 修 (51期)	名誉会長	清水 信次 (28期、ライフ会長兼CEO)
副会長	清水 省吾 (52期)	相談役	平井 政博 (39期、元会長)
副会長	吉田 友好 (55期)	相談役	殿浦 嘉郎 (42期、前会長)
副会長	原田 哲夫 (58期)	顧問	池田 信雄 (元校長)
事務局長	鹿島 靖彦 (45期)	顧問	森田 文明 (前校長)
監 査	臼木 幸三 (62期)		
監 査	西川 貴夫 (63期)		

II. 学校法人の経営概要

1. 財務状況について

① 収入について

- 入学生徒数は、安定しており学費収入も安定している。
- 大阪府からの経常費補助金は、高校で2%カットが解消されたことにより増加した。但し、中学校は依然として15%カットが継続されている。

② 支出について

- 就学支援金に関する学校負担金（奨学金）は、1,912万円余であった。

③ 会計処理について

生徒からの徴収金等は、全て学校会計基準に基づいて、適切に処理している。また、資産運用についても、運用規定に基づき運用している。

III. 教学の概要

1. 教育事業の概況

(1) 教学に関する事項

① 中学校

中学で「スーパー理数」を設置して14年目に入った。現在では、中高の在学生の95%が6年コースの生徒である。「中学からの入学生をしっかりと教育し伸ばすこと」が一層求められている。

新校舎での生活がスタートして以来、中学では各学年、週4回の給食の提供を実施している。プールでの水泳実習や和室を使っのクラブ活動など、教育活動の幅も広がった。生徒、保護者の意見も良く聞いて適切な形で更に改善、充実していきたい。令和元年度、各学年で予定されていた宿泊行事などの大半は無事実施されたが、新型コロナウイルス禍の臨時休校措置により、3月に予定していた夜間歩行やかるた大会、弁論大会クラス予選等の行事は中止または延期せざるを得なかった。また、中学校の卒業式は、感染拡大防止のため、保護者の参列はなしという異例の形式での実施となった。英語検定では、令和元年度の中学3年生は、7割の生徒が中学卒業までに準2級以上を取得している。

②高等学校

今春卒業した高校3年生、265名(スーパー9期で、105期生に当たる)の進路結果(浪人含む)は、東大1名、京大14名、阪大11名、神大9名、国公立大医学部6名、現浪全体で150名が国公立大(大学校2名を含む)に合格し、卒業生比では56.6%であった。現役では98名が国公立大(大学校1名を含む)に合格し、卒業生比で37.0%であった。高校2年生(268名)も、勉強合宿を10月に行うなど、意欲的な実践を続けてきた。まとまりも良く、新たな可能性を作りつつある。高校1年生(281名)も、文理選択の指導などを通じて進路意識も高まってきた。内部進学生は7クラス、編入1クラスで、学年8クラスの規模となっている。

③令和元年度高校卒業生の進路(令和2年度大学入試合格・進学状況)

i. 今春高校卒業生の進路に関わる主な指標は、次の通りである。

- | | |
|----------------|---|
| a. 卒業生数 | 265名(7クラス) |
| b. 大学進学希望者 | 265名 |
| c. 大学進学者数 | 176名(現役生進学率 $c/a = 66.4\%$) |
| d. 現浪国公立大学合格者数 | 150名($d/a = 56.6\%$) |
| | ※東京大1、京都大14、大阪大11、神戸大9、大阪市大11、大阪府大13など。 |
| | ※現役生合格者数 98名($98/a = 37.0\%$) |
| | ※大学校2名(現役1名・浪人1名)を含む。 |
| e. 現浪国公立等医歯薬系 | 9名(医、歯、薬) |
| f. 現浪私立大学合格者数 | 670名(うち関関同立187名、延べ数) |
| g. 現浪私立医歯薬系 | 58名(医、歯、薬) |

ii. 詳細は、別紙資料による。

④授業改革

基礎学力を定着させ、生徒の学習意欲を高めるためにも、目先の勉強で生徒を追い立てるのではなく、よく考えて勉強する良い学習習慣を身に付けさせたい。この指導を「授業改革」というスローガンの下進めてきた。生徒が授業の予習・復習に時間を掛ける、授業の準備をしっかりと授業を受ける、これが学習の基本であるが、そこを大事に学習の改善ができるようにしていこうというものである。現在、必要な小テストや確認テストなどは授業の中で行い、授業外での小テストを多用することは避けている。

⑤教員研修及び講演会

学校教育活動のグレードアップをはかるための教職員研修を実施している。全教職員対象の研修、部長・学年主任・副主任の合同研修、新人研修など。また、教科指導力の向上を目指し、学内及び学外での教科研修の推奨や予備校講師を招いた大学入試問題検討会等を実施している。

生徒を対象とした各種講演会を実施した。平成26年度は100周年記念講演会として、宇宙飛行士の山崎直子さんをお迎えした。27年度は京都大学の杉本淑彦先生に「現代日本文化としての源氏物語」、28年度は宇宙物理学者の池内了先生に「科学とのつきあい方」と題しての講演をして頂いた。29年度は、アフガニスタンの復興に尽力されている医師の中村哲先生にご講演頂いた。なお、昨年12月に中村哲先生が凶弾に倒れた際には、追悼募金を全校で取り組み、生徒・保護者・教職員から157万円の募金が寄せられ、ペンチャール会に寄附した。30年度は、JAXA勤務の卒業生(理系、文系)の2名と京大大学院生で日本学術振興会特別研究員の卒業生1名の計3名による講演会を実施した。令和元年度は、東大宇宙線研究所長で2015年ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生にご講演頂

いた。生徒たちは、視野の広がりを持って社会のことを考えられたのではないかと思う。

⑥生徒指導

「学習指導と生活指導は車の両輪」が本校の生活指導の基本である。学習を支える基本的な生活習慣、生活規律の確立に向けた指導を強めると共に、豊かな倫理観を養う教育に努めた。

平成25年6月に制定された「いじめ防止対策推進法」を受け、本校でも「学校いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページに公表している。生徒、保護者、教職員が心をひとつにして、深刻ないじめで悩み苦しむ生徒がいないように努めてきた。令和元年度も、生徒、保護者に学校のいじめ・体罰などの相談窓口を文書で明示している。

⑦学校評価

令和元年度も、全生徒・保護者を対象に学校評価アンケートを行った。授業担当者の個別評価も導入している。それらを踏まえて教職員の自己評価アンケートも実施している。令和元年度の生徒、保護者のアンケート回収率は69.1%(中学で80.2%、高校で58.9%)であった。

(2)令和元年度PTAの主な事業について(別紙「PTA事業報告」参照)

5月11日(土) 総会、PTAコンサート

7月6日(土) 進路対策講演会

9月8日(日) 文化祭

10月26日(土) 健康推進講習会

10月27日(日) 私学保護連スポーツ大会

11月7日(木) 社会見学会

11月9日(土) 文化教養講演会

1月29日(水) 大阪私学振興大会

上記以外に、全委員会、各委員会などを開催。また、PTAクラブ活動としてバレー部、ウィンディン(文化クラブ)・えくら(コーラスクラブ)が、月1~2回活動。PTA新聞は年2回発行。